

本時のねらい

- ・「ビブリオバトル」形式の活動を通して、本を読むことへさらなる興味・関心を引き出す。
- ・聞き手、時間や場所などの状況に応じた、内容を考えてプレゼンテーションする力を育てる。
- ・他者のプレゼンテーション発表を聞く活動を通して、自分自身のプレゼンでの表現方法をふりかえり、よりよい発表ができるようにする。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・Forms を使ったアンケートを活用し、結果を集計することで、発表者へすぐにフィードバックし、「クラスチャンプ本」を即時に決定することができる。
- ・人前で意見を話すことが得意でない生徒も、タブレット PC 上に意見を書き込み共有でき、ディスカッションを活性化することができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Microsoft Word
- ・Microsoft Forms

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ・ビブリオバトルの流れの説明を聞く。 活動の流れ ①前時に決めた各班の代表者が、一人 3 分で本を紹介する。 ②発表後、2 分間で参加者全員でディスカッションする。 ③最後に、クラスの「チャンプ本」を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は事前に Word で発表原稿を作成している。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ・各班の代表者（6 名）が本を順番に紹介する。 ・6 名の発表が終わったら、タブレット PC から投票し、「クラスチャンプ本」を決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の際、補助資料として、パソコン上のデータを参考に示してもよいことを伝える。 ・Microsoft Forms を使うことで、すぐに結果を知ることができる。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスの「チャンプ本」に選ばれた本について発表した代表者に、学年での発表会に向け、クラスでアドバイスを送る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内のディスカッションでは意見を言えなかった生徒の助言もタブレット PC 上で共有することができ、発表者が、学年での発表会に向け課題を検討しやすくなる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真1 Wordで原稿を作成している様子



写真2 PC上の補助資料を見ながら質問に答える様子



写真3 Formsで投票している様子

児童生徒の反応や変容

- ・Forms 集計画面上で、何人が投票したかを確認することができ、声を掛け合うことによって全員参加することができた。
- ・アンケートの回答に時間がかかった生徒もいたが、お互いに方法を教えあい、協力しながら、授業に積極的に参加していた。
- ・班の代表者の発表後、すぐにアンケートをとり、その結果をすぐに共有できることで、全員がしっかりと評価するために集中してプレゼンを聞いていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・Forms でのアンケートは、簡単に作成でき、アンケート結果集計処理もすぐできるので、その分、生徒の原稿作成指導や発表指導などに時間をかけることができた。
- ・生徒達は発表を行ったあとにすぐ投票結果がわかるので、その場で自分自身の発表のふりかえりを行い、次の発表活動につなげようとしていた。